

学校関係者評価委員会での意見交換

日時;令和6年11月22日(金)19:00~20:00

内容;

参加者を2~3名の小グループになっていただき、各グループにファシリテーターを1名配置し、話し合いを実施する。

議題は、学校の現状報告を受け「あさくら看護学校に思うこと、期待すること」などを自由に話し合っていただいた。(時間;19:35~19:50)

| | |
|--------|---|
| A グループ | <ul style="list-style-type: none">・全国的な学生数の減少は否めない。その中で生徒や保護者へのアピールは大切だと考える・アピールとして、地域活動は有効だと考える・1年生の授業が、詰め込みになりがちであるが、「知っている」だけではだめで「使える知識」になっていくことが大切だと考える・あさくら看護学校は、他看護学校と比べても学費が安く、国家試験合格率も高い。これらのことをもっと広報していった方がよいのではないかと思う |
| B グループ | <ul style="list-style-type: none">・理念を実践するためにも、教職員の不足は教育に大きく影響する可能性がある・メンタルヘルスケアが重要である・指導については、昨今は受け手のとり方に大きく左右されることがある。 共に育つためにもフィードバックの必要性があると考える・実習で、家族への指導のあり方なども今後は大切になっていくと考える |
| C グループ | <ul style="list-style-type: none">・意見をきくための用紙のカテゴリーが難しい・卒業してから改めて感じる事だが 実習施設が多い・国家試験対策が手厚いこれは、学校として強みではないかと考える |

短期間ではありましたが、学校関係者評価委員の皆様全員が本校の現在、将来に対して真剣に話し合いを行っていただいたことに感謝申し上げます。

令和6年度は、様々な新しい教育的な試みを行っております。学校関係者評価委員の皆様のご意見のいくつかは令和6年度の教育実践としてご報告させていただきます。また、いくつかのご意見に関しては今後検討させていただきより良い教育実践のために活用させていただく予定です。

令和5年度 自己評価・自己点検結果に対する意見

あさくら看護学校

| カテゴリー | 意見・感想 |
|-------------|--|
| I 教育理念・教育目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題なし (学生一人一人が理念を理解し職員とともに豊かな人間性を築いてほしい) ・旧カリキュラムでの問題点は何だったか、改善点はどこか ・カリキュラムガイダンスは、在校時も明確化されていると感じ参考にしていた。 ・教員不足による満足度の低下が考えられる ・学生の声にもあるように、他の学校と比較すると学年の人数が少人数であることから個人の授業の理解度がわかりやすかったり、教員と学生に信頼関係が築きやすいとう利点があるので、学生のサポート体制は整っているのではないかと思う ・新旧カリキュラムが混在する中、混乱もなくカリキュラム運営がされている。「人間探求と尊き愛」人を大事に丁寧な対応の姿勢が実習において高評価である ・理念を学生とともに考える機会を作る等ことは学生にも良い影響と思われる |
| II 教育目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・今までで良い ・退学防止は入学前と入学後における理想と現実のギャップの差をいかに埋められるかどうかも必要になってくると考える ・国家試験対策は1年次から必要である ・福岡県内の就職者が半数以上占めており、地域に貢献できる看護師の育成はできていると思う ・国家試験を自分のこととして定着させる課題に関しては、国家試験を意識するには「3年生」という意識をなくすこと。1, 2年生の時から意識付けできる対策が必要である ・経済産業省が提唱している社会人基礎力の「前に踏み出す力」「考え方」「チームで働く力」の3つの能力を求められており、内容を加味した事項が教育目標の中に明示されている ・それぞれの順応性によりメンタルケアが必要と思われる |
| III 教育課程経営 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の影響で授業のスケジュールがタイトになるため比較的余裕があると良い ・授業と実習の休講は年々増えていると感じる。特に実習は現地での経験が減る。以前よりもリモートの活用ができる環境はあると思う。 ・自然災害の増加や感染症の流行に関しては、学校としての対策はもちろんだが、学生個人も感染対策の知識を拡大していくことが大切だと思う。 ・臨地実習は、臨床をイメージしたり一人の人として患者さんを受け持ち「考える」大切な場であり座学では得られない様々な経験や気づきができる良い機会だと思うので大切に行っていただきたい |

| | |
|--------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が安心して実習に参加できるように感染対策を重視されている。また、実習における倫理規定の見直しから学生が内容を留意して実習に取り組まれている ・3年間での能力習得は学生も教職員も計画的なケアが必要と思われる |
| IV教授・学習・評価課程 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の工夫一使える知識を身に付ける授業 ・指導方法一声掛けながら育てていく ・専任教員の入れ替わりがあり、新入職員の研鑽に期待したい。能力の個人差があった。 ・講義中心よりアクティブラーニングを取り入れた授業はいいと感じる。 ・アクティブラーニングを取り入れることで、受け身の授業ではなく自ら学びに行く授業になるので学生の勉強意欲も向上するのではないかと思う ・シラバスを作成し、学年に応じた丁寧な指導を関わりを意識され実施されている ・アンケートを実施し、その結果を受けて指導を行う事は、大変な作業と思いますが良いことだと思われる |
| V経営・管理課程 | <ul style="list-style-type: none"> ・備品の購入等できるだけ学生に迷惑をかけないように考えていく ・補助は寮費のみなのか。寮へは希望者が入寮できるのか ・同窓会費からの備品の購入も検討してはどうか ・ネットでの広報活動は継続で良いと思われる ・教職員の入れ替わりによる学生への影響が少なく済むようにしていくことが大切である ・コロナ禍で縮小していた学校行事が少しずつ実施できるようになっていることはうれしく思います ・学校生活の防犯対策を実施されており、安全性を確保されている。 ・授業環境の安定と効率を考慮され運営されている ・教職員の入れ替わりによる引き継ぎも大切だと思われる |
| VI入学 | <ul style="list-style-type: none"> ・リクルートのスタディサプリの活用方法 ・朝倉市の家賃補助制度や奨学金の返還支援制度のPR ・学費が安いことはアピールしてもよいのでは ・入学生の多様な学力への対応が必要 ・合格率の高さ、学費の安さは魅力を感じている。国家試験へのサポートが手厚い。 ・学費や国家試験の合格率、豊富な実習施設など魅力が多い学校だと思うので今後もホームページの工夫やSNS拡大によって受験者を維持していただきたい ・朝倉市からの看護学生への助成金支援により、修学及び地域の就職に有用である。 ・ホームページやインスタグラムによる学生生活の情報発信は、新たな情報を知る機会となり学校選択の優位となりうると考える。 ・募集委員会の立ち上げやインスタグラム活用等良いと思う |

| | |
|--------------------------------|---|
| VII卒業・就業・進学 | <ul style="list-style-type: none"> 看護師国家試験の合格率の高さはアピールポイント（支援が厚い） 実習施設が多い 卒業、就職したそれぞれの機関で活躍できる人材として有用か。離職しない自分で問題解決できる能力を身に付けることなどの結果が欲しい 卒業生の卒業状況を知れるともっと就職活動がしやすいと感じる。 卒業する上で学生自身が卒業後時の到達目標を理解し、達成するために何が必要か考えるサポートがあつたらよいと思います 地域密着型の看護学校として県外への就職後地域へ帰還される学生の存在が地域病院として人材確保する上で期待が大きいと考える。 OSCE を活用した技術試験により振り返りながらの教育効果を期待し、看護実践能力の向上につながると考える 卒業後も相談できる場があると良いと思う |
| VIII地域社会・国際交流 | <ul style="list-style-type: none"> 地域交流→夏祭りの参加→アンケートからレポート作成（地域への提案）→地域として食事（減塩・免疫力アップ）、睡眠、運動の口座を実施→次年度以降学生さんの参加や指導をお願いしたい 夏祭りへの参加、てふてふ祭で地域交流は行えていると思う 朝倉市唯一の看護学校であるため、これからも地域の方々とのつながりを大切にしていってほしいです てふてふ祭、オープンキャンパス、地区夏祭りに参加されており、コロナ禍以降交流の機会となったと考える 夏祭りの交流はよいと思う |
| IX研究 | <ul style="list-style-type: none"> 学会での発表を今後頑張ってほしい 教員不足のなか、研究までの参加は負担になりそう 研究活動が可能な支援を期待しています 教職員の人材確保の定着とともに今後の活動に期待する 無理がないよう行われると良いと思う |
| その他 あさくら看護学校への自由なご意見をお願いします | <ul style="list-style-type: none"> 学校経営上のアピール（寮費、生活支援など） 学生時代、先生方の国家試験や実習サポートに大変救われ感謝しております。今後も在校生への献身的なサポートをよろしくお願ひいたします。 看護学校を卒業する上で、昨今社会的課題でもある退職する際に退職代行サービスや人材派遣サービスなどの利用リスクの情報提供や自己のキャリアを大切に考えることができる職業倫理的な事項を説明していただきたい 様々な実習等でのメンタルケアを大切にしながらお願いしたい |